

|                 |  |         |  |              |
|-----------------|--|---------|--|--------------|
| 授業科目名<br>(講義題目) | アカウンティング   |         | 開講学期<br>単位数  | 前期<br>2単位    |
| 担当教員            | 大石 桂一  |         | 講義コード  | 科目区分<br>対象学生 |
|                 |  |         | 17176002   |              |
| 開講予定日           | ① 4/10 ② 4/17 ③ 4/24 ④ 5/8 ⑤ 5/15 ⑥ 5/22 ⑦ 5/29<br>⑧ 6/5 ⑨ 6/12 ⑩ 6/19 ⑪ 6/26 ⑫ 7/3 ⑬ 7/10 ⑭ 7/20 (木) ⑮ 7/24 |         |  |              |
| 履修条件            |  | キーワード   | 複式簿記、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、財務諸表分析、ディスクロージャー |              |
| 全体の教育目標         | 会計の基本的なルールと理論を理解し、財務諸表のデータを使いこなせるようになること。  | 個別の学習目標 | 会計の基本的なルールと理論を理解し、財務諸表のデータを使いこなせるようになること。            |              |

|             |   |
|-------------|---|
| 授業の概要       | <p>アカウンティング（会計）はビジネスの言語と呼ばれることから分かるように、企業活動を洞察する上で汎用性の高いツールである。特に、高度な意思決定を行う必要のあるビジネスパーソンにとって、決算書（財務諸表）を通じて提供される会計情報を使いこなす能力は不可欠であると言えよう。</p> <p>そこで本講義では、アカウンティングの基礎、とりわけ貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書などの基本となる財務諸表を作成するためのルールとその基礎にある理論を学び、財務諸表の読み方について学習する。その上で、代表的な日本企業の財務諸表データを用いたケース分析を行うことで、企業を分析する際の視点と方法的基礎を養う。なお、国際会計基準（IFRS）の動向についても随時解説を加える。</p> |
| 授業の進め方      | <p>パワーポイントを用いたプレゼンテーション形式で講義する。また、講義の終わりに課題を出すので、翌週に提出してもらい、解答・解説を行う。したがって、講義は原則として、(1) 前回課題の解説、(2) 今回テーマの基本的事項の説明、(3) ケースの分析と解説、(4) ディスカッション、という流れで行う。</p>   |
| 教科書および参考図書  | <p>講義資料を毎回配布し、参考文献はその都度指示する。また、以下の本を基本的な参考書として推薦する。</p> <p>(1) 伊藤邦雄『新・現代会計入門』日本経済新聞出版社、2014年<br/> (2) 田中建二『財務会計入門（第4版）』中央経済社、2015年</p>  |
| 試験・成績評価の方法等 | <p>課題の提出（30%）、ディスカッションへの参加（20%）、および学期末のレポート（50%）で評価する。</p>  |